

阪田 育功さん (文化財保護課専門員) 考古学技師

古代から人が住み文化が形成されてきた大阪府では、百舌鳥・古市古墳群をはじめとした遺跡だけでなく、開発事業の中で地中深く埋もれていた遺跡が偶然見つかる場合も多くあります。そんな埋蔵文化財を記録・保存し、後世に伝えていくことも自治体の役割です。

大阪府文化財保護課の阪田さんの職場におじゃまして、お話をうかがいました。



「文化は地域の宝物」と語る阪田さん

文化財保護は 広範でち密な仕事

大阪府文化財保護課は泉北高速泉ヶ丘駅から徒歩約15分、公益財団法人

文化は「心地よさの指標」

人大阪府文化財センターと同じ建物にあります。阪田さんの案内で、日本最古(5世紀)の



阪田さんから発掘された遺物の説明を受けました

馬の全身骨格や土器の修復作業などを見学しました。調査事務所では地域の小学校の体験学習も受け入れるなど、調査・発掘から復元・保存・記録・公開・啓発・管理・教育など様々な業務が行われています。

です」と、現場の実情を語る阪田さん。

文化財保護の意義については「埋蔵文化財は放っておけば壊れて元に戻すことはできません。そもそも文化財は町の歴史を知ることのできる貴重な財産で、私たちの仕事はその歴史的価値を住民に知ってもらうことです。町の文化や歴史の重みと風格を住民が誇りをもって語ることができるようになればと思います。文化は人間らしい生活のバックボーン、心地よさの指標ともなると思いますが」と静かにしっかりと語りま

文化財の価値を 見出すのが行政の責任

土器や埴輪などの埋蔵物の修復については「パズルを組み立てるようなもので、経験が必要ですね。そうした作業の多くは非常勤職員が担当しています」さらに、「埋蔵文化財の発掘調査は開発業者の費用負担で行われます。最近では開発も減っているため発掘調査も減っています。普及啓発事業など本来の文化財保護事業は文化財保護の予算で行われたいけないのですが、その予算も増えず、なかなか人員増といかないの

す。

阪田さんからも「土からできた土器と美術工芸品ではどちらの価値が高いですか?」との質問が。難問に沈黙していると「だから土器の価値を調べる人が必要だし、その価値を知ってもらうことも同様に大切です。土器には美術工芸品のように高額の金額がつくことは稀で、学術的文化的な価値が重要です。だから行政の仕事なんです」と文化財保護と行政の責任を説明してくれました。

コストではかれない 経験の積み重ね

「一番がなのは学芸員。観光マインドが全くない。一掃しないと」の地方創生大臣の発言には、「コストだけを考えているからこんな発言が出てくる。自治労連の埋蔵文化財関係職員交流会でも、後継者の採用がないために、技術などを引き継げないという声が出ます。多くの市町村では非正規雇用職員が増えています。お祭りなどの民俗文化の調査でも、住民の中に入って人間関係を作り、話を聞くことが大切です。1年雇用ではなかなか難しいですね。目に見えない積み重ねがあるからこそできる仕事なんです」。最後に「文化は地域住民の宝物。だから自治体職員も力を合わせて守っていくことが大切なんです」と言葉に力を込めて話してくれました。



扇町公園で府職労は「8時間働けばまともな生活できる社会を」とアピール

第88回大阪メーデー

日本国憲法施行70周年 憲法がいきる社会へ

5月1日、青空が広がる扇町公園には4500人がつどい、第88回大阪メーデーが開催されました。ステージからは、「偽りの『働き方改革』でなく人間らしく働ける社会を」、「共謀罪によって戦前に引き戻すようなものと言えない監視社会を許さない」など決意が語られました。国民共同のたたかいを発展させ、憲法をいかすたたかいをつよめていくメーデー宣言が採択され、続くデモ行進では道行く市民にアピールしました。また、堺、岸和田、貝塚、河南、豊中、枚方・寝屋川・交野などで地域メーデーにも多くの組合員が参加し、大阪全体で1万人を超えるメーデーが取り組まれました。



堺メーデーには非正規労働者の待遇改善を求め、堺非常勤認定調査員労組のみなさんも参加しました

森友疑惑の幕引きは許さない!

政府・与党や維新府政の幕引きを許さないとして4月23日には「森友学園」問題の全容解明を求める緊急集会が大阪市内で開かれました



枚方・寝屋川・交野メーデーには野党共闘の広がりの中、自由党の議員の訴えも

